

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 26 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 「糖尿病フォーラム徳島」における歯科からの糖尿病重症化予防の取り組み</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人徳島県歯科医師会</p>
<p>3. 実施組織： 徳島県歯科医師会 日本糖尿病協会徳島県支部 徳島県糖尿病協会 徳島県医師会 徳島市医師会 徳島栄養士会 徳島県糖尿病対策推進会議 徳島県臨床検査技師会 徳島県糖尿病療養指導士会 徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター他</p>
<p>4. 事業の概要： 徳島県は糖尿病死亡率ワースト 1 が続いており、官民挙げて改善に取り組んでいる。 徳島県糖尿病対策班会議の参加団体を中心に世界糖尿病デーの前後で糖尿病予防キャンペーンの一環として、ブルーライトアップやウォークラリーなどのイベントの一環として糖尿病フォーラムを毎年開催している。 徳島県歯科医師会はこのイベントに今年度より参加し、歯周病と糖尿病の関連の周知や糖尿病の合併症である歯周病の状態を検査し歯周病の程度に応じた予防・治療を促し、また、他業種と共に生活習慣改善に基づいた歯科保健を行うことで糖尿病の重症化予防にかかわることを目的とした事業を行った。</p>
<p>5. 事業の内容： 来場者に対して、唾液を検体とした歯周病検査と、日本歯科医師会作製の生活歯援プログラムの質問紙調査を行った。唾液検査は当日判定を希望する方にはペリオスクリーン、または四国中検に依頼し、乳酸脱水素酵素と遊離ヘモグロビンを判定した。ペリオスクリーンの結果や質問紙調査をもとに、歯科保健指導を行い歯ブラシソムリエと称しその方に合ったハブラシを選び進呈した。 並行して行われた市民公開講座では徳島大学の永田教授による歯周病と糖尿病に関する講演、多職種によるシンポジウムを行った。希望者に歯周病や糖尿病の状態にあわせた歯周病治療について相談を行い、糖尿病と歯周病の管理に役立てるため作製したデンタルパスポートを配布した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 糖尿病フォーラムには歯科医師会は参加しておらず、糖尿病克服のための多職種の取り組みに参加することで今後の連携の推進が期待される。今回は例年とことなっていた会場だったためか来場者が少なかったが、スタッフの被験者も見られ理解につながった。 また、県民公開講座・シンポジウムについては地元 CATV で配信され来場者以外にも視聴できるようにした。今後、唾液検査結果の判定基準が明確になると受診者の理解が得られやすいのではと考えている。 次年度以降は、歯科医師会の活動の浸透とフォーラムを通じて更なる連携の推進を図ることが課題と考える。</p>